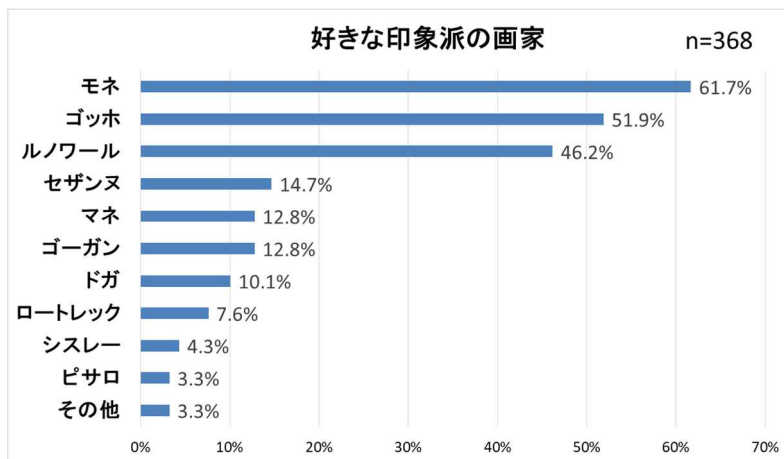


**「印象派、記憶への旅」を開催中のポーラ美術館が意識調査
好きな印象派の画家 1位「モネ」2位「ゴッホ」3位「ルノワール」
ゴッホは男性、モネは女性から厚い支持**

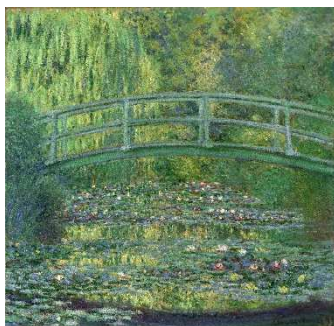
印象派作品をテーマにした展覧会「印象派、記憶への旅」をひろしま美術館と共同開催中のポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、20～60代の男女を対象に、好きな印象派画家などについて意識調査を実施しました。

好きな印象派の画家*について、1位「モネ」(61.7%)、2位「ゴッホ」(51.9%)、3位「ルノワール」(46.2%)という結果となりました。

*新印象派、ポスト印象派含む



	1位	2位	3位
男性	ゴッホ	モネ	ルノワール
女性	モネ	ルノワール	ゴッホ
	1位	2位	3位
20代	ゴッホ	モネ	ルノワール
30代	モネ	ゴッホ	ルノワール
40代	モネ	ゴッホ	ルノワール
50代	モネ	ルノワール	ゴッホ
60代	モネ	ルノワール	ゴッホ



クロード・モネ
《睡蓮の池》1899年



フィンセント・ファン・ゴッホ
《アザミの花》1890年

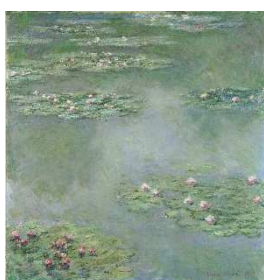


ピエール・オーギュスト・ルノワール
《レースの帽子の少女》1891年

いずれもポーラ美術館蔵

調査結果について、「印象派、記憶への旅」を担当するポーラ美術館学芸課長の岩崎余帆子^{いわさきよおこ}は、「男女別、どの年代でもモネ、ゴッホ、ルノワールの3人の画家たちに人気集中していることに驚きました。とくに、モネとゴッホは日本にあこがれていた画家たちであることを考えると、私たちは彼らの作品になにかしら共通する魅力を見出しているのかもしれない」とコメントしています。

ポーラ美術館は、TOP3となったモネ、ゴッホ、ルノワールの収蔵数が日本一多い美術館でもあり、モネ 19点、ゴッホ 3点、ルノワール 16点（彫刻1点を含む）を収蔵しています。



クロード・モネ《睡蓮》1907年

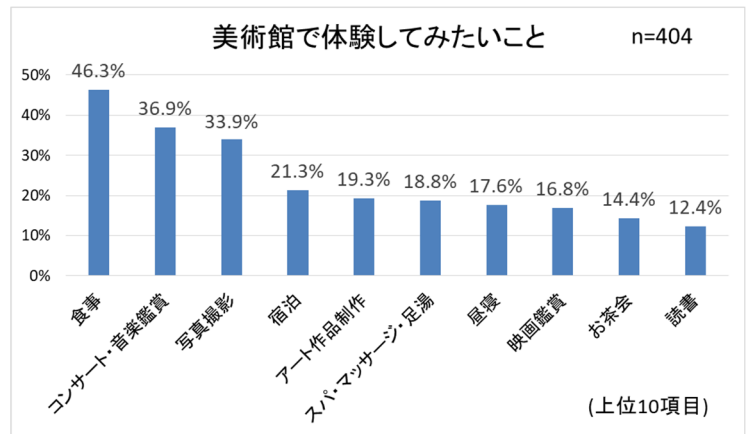


クロード・モネ《バラ色のボート》1890年

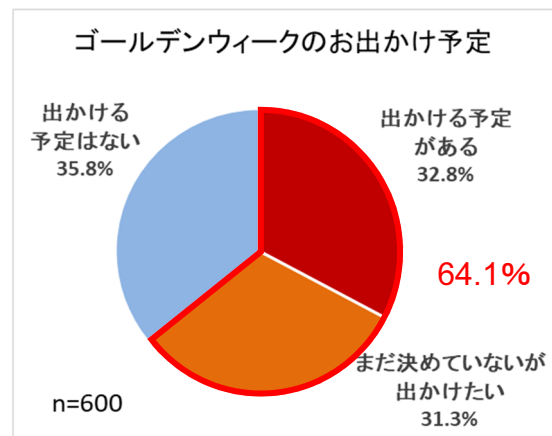
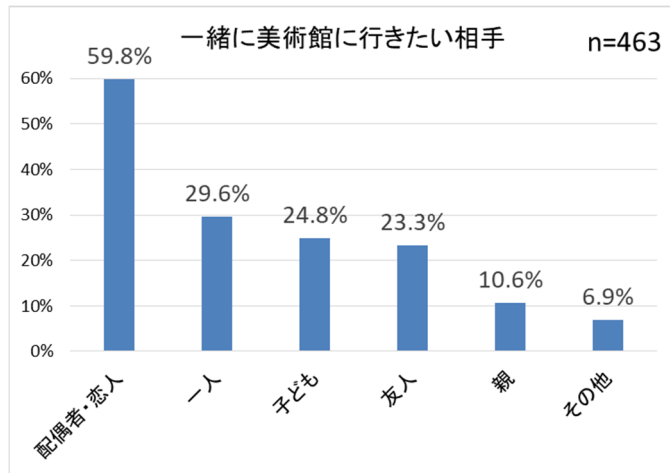


ピエール・オーギュスト・ルノワール《髪かざり》1888年

作品鑑賞以外に美術館で体験したいことについての質問では、1位「食事」(46.3%)、2位「コンサート・音楽鑑賞」(36.9%)、3位「写真撮影」(33.9%)という結果になり、鑑賞とともに美術館ならではのグルメも楽しみにしている人が多いことが分かります。なお、20代・30代では1位の「食事」に続き「写真撮影」が2位と、美術館でのフォトジェニックな体験を重視していることが浮き彫りになりました。



また、一緒に美術館に行きたい相手は圧倒的に「配偶者・恋人」が1位となり、落ち着いた空間をデートで訪れたいと考える人が多いようです。



10連休を控えた今回の調査では、お出かけ予定や美術館で体験したいことなどについても調査しました。今年のゴールデンウィークについて、計64.1%の人が「出かける予定がある／出かけたい」と考えていることが分かりました。

史上初の10連休となるゴールデンウィークは、新緑の季節とも重なり、お出かけにぴったりの時期です。印象派の画家たちも、旅先で出会った風景や自然の美しさにふれて多くの作品を描きました。この機会に自然の中でアートに触れてみてはいかがでしょうか。

■ゴールデンウィークのポーラ美術館おすすめ体験3選！

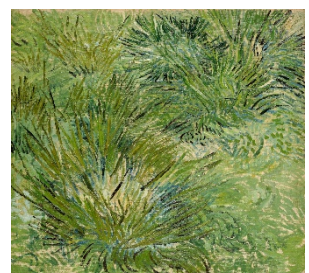
1. 展覧会を鑑賞して感性を高める

ポーラ美術館×ひろしま美術館 共同企画展「印象派、記憶への旅」

日本の二大印象派コレクションが夢のコラボレーション。今回の調査で高い人気を示された画家の作品も多数展示しており、企画展ではモネ10点、ゴッホ3点、ルノワール5点、常設展ではモネ2点、ルノワール7点をご覧ください。企画、常設をあわせて113点の印象派を中心とした西洋作品が一堂に会します。

また、最新の光学調査から明らかになった、ゴッホの制作過程の裏側に迫る展示もみどころ。筆跡や偶然的な痕跡にも光を当て、絵画に留められた「記憶」を呼び起こします。

【会期】2019年3月23日(土)～7月28日(日)



2. 目にも美しい料理を味わう

ポーラ美術館の併設レストラン「アレイ」では、美術館ならではの食事を楽しめます。

展覧会限定コースメニュー「プロヴァンス美食紀行」 税込 2,980 円

印象派の画家たちに愛された南仏プロヴァンス風料理をご用意しています。

※ご提供 7/28 まで



デザートメニュー「睡蓮」 税込 920 円

クロード・モネの代表作「睡蓮」に見立てた華やかなデザート。

スタッフが仕上げにノンアルコールスパークリングワインをお客様の目の前で注ぎます。



3. フォトジェニックな自然に癒される

GW 限定イベント「フォレスト・ナップ！ 森のくつろぎハンモック」

広大な国立公園の中に位置するポーラ美術館。

爽やかな新緑に癒されながら、ハンモックの楽しいゆれ心地を体験できます。



実施概要

- 期間：4月27日（土）～5月6日（月）
- 時間：10:30～16:00 時間内で自由にご利用いただけます。
* 混雑時は、1組15分程度を目安。（会場に砂時計を設置しています）
- 場所：ポーラ美術館 森の遊歩道内
- 参加費：無料 ■ ハンモック設置数：6枚
- 天候による実施有無：雨天中止（小雨の場合も中止）



■ ポーラ美術館について (<http://www.polamuseum.or.jp/>)



2002年に神奈川県箱根町に開館。ポーラ創業家2代目の鈴木常司が40数年間にわたり収集した、西洋絵画、日本の洋画、ガラス工芸、古今東西の化粧道具など総数約1万点を収蔵。

- ・開館時間：9:00-17:00（入館は16:30まで）
- ・休館日：無休（展示替えのための臨時休館あり）
- ・所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285
- ・TEL：0460-84-2111

■ 本件に関するお問い合わせ：

ポーラ美術館 広報担当：中西、井本

TEL：0460-84-2111 / FAX：0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局（プラップジャパン内） 担当：名取、屋木

TEL：03-4570-8172 / FAX：03-4580-9128 MAIL：polamuseum.pr@prap.co.jp